



大竹は風通しの よいところだと思います

第47回のインタビューは
大好き大竹応援大使の

二階堂 和美 さんです。



自己紹介をお願いします

大竹在住のシンガーソングライターであり、僧侶でもあります。最初にCDを出した年から今年で26年目、2013年にはスタジオジブリ映画「かぐや姫の物語」の主題歌を作詞・作曲・歌唱しました。2014年には大竹市制施行60周年記念事業として、公式イメージソング「大竹で生きている」を制作させていただきました。現在は浄土真宗寺院の住職と、音楽活動と、小学生二人の子育てに日々奔走しています。



僧侶としての勤行風景（自坊にて）勤行もライブです。心を尽くして唱えます。

大好き大竹応援大使になる きっかけを教えてください

昨年10月、市制70周年と大竹出身の作詞家石本美由起さん生誕100年を記念して、アゼリアホールで「二階堂和美toおたけ吹奏楽団Specialコンサート」を開きました。市の教育委員会に共催いただき、おかげさまで大きなイベントを無料で開催できたのですが、その企画段階で市役所の方々から大使になることを進めていただき、申し出る運びとなりました。



21人編成のビッグバンド、Gentle Forest Jazz Bandと共演するときは全員の音を一身に受け止めて爆発させます。（東京新木場STUDIO COASTにて）

大竹市の思い出の場所や 出来事をお聞かせください

母校である大竹小も大竹中も、建物は自分が通っていた頃から建て替わっています。場所と校歌は同じで、子どもたちが今それを歌っていることが感慨深いです。うちは大竹の中でも最西部で県境の川のすぐ傍なので、散歩

で川沿いを橋から橋と、県をまたいで一周する、みたいなことが日常的にあり、そのことが気持ちにも風通しの良さみたいなものとして、よい影響を与えてくれているように思います。夫が突然病気で亡くなったのもうすく3年が経ちますが、よその土地から来て大竹市民となってくれたこと、10年間大竹で共に過ごした日々が、これからも私の人生を支えてくれる宝物です。

応援大使として今後どのようにして 大竹市を盛り上げたいですか？

先の公式ソング「大竹で生きている」は、健康マイスターさんが作ってくださった健康体操の振り付けのおかげで、市民の方々にも親しんでいただけて、大変ありがたいことです。また私のほうでも、同じく応援大使であるYuriko Miyakeさんをお願いして、子どもたちが歌いながら踊れる振り付けを付けてもらいました。今後大竹市民の皆さんが、質の高い音楽や芸術に触れる機会を身近に持てるように、よい企画を提案できたらと思います。

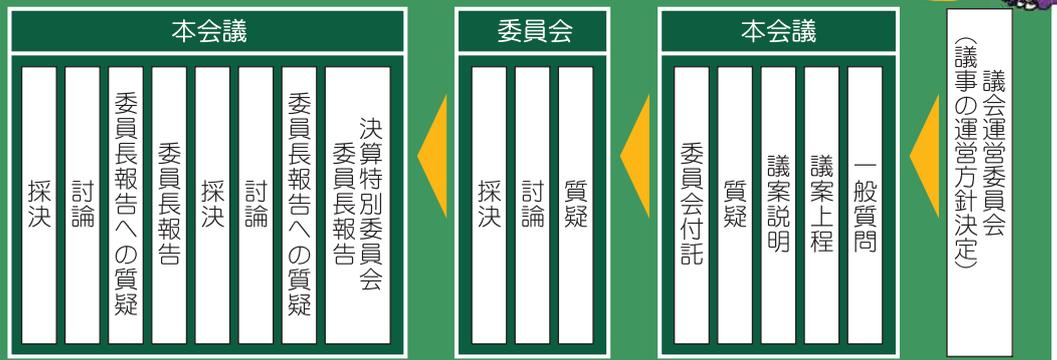
今後の活動など大竹市民へ メッセージをお願いします

大竹は風通しのよいところだと思います。海も川も空も広がっている。ここ大竹で、楽しく充実した毎日を送っている私やみなさんの姿が、他の誰かの励みとなったらよいなと思っています。自分のいのちがぎっと誰かのいのちに繋がっているの、一生懸命生きていきたいと思います。

CHECK!!



12月定例会の主な流れ



広報広聴特別委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 藤川 和弘 |
| 副委員長 | 中川 智之 |
| 委員 | 中野 友博 |
| | 山代 英資 |
| | 末広 天佑 |
| | 豊川 和也 |
| | 小出 哲義 |

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

